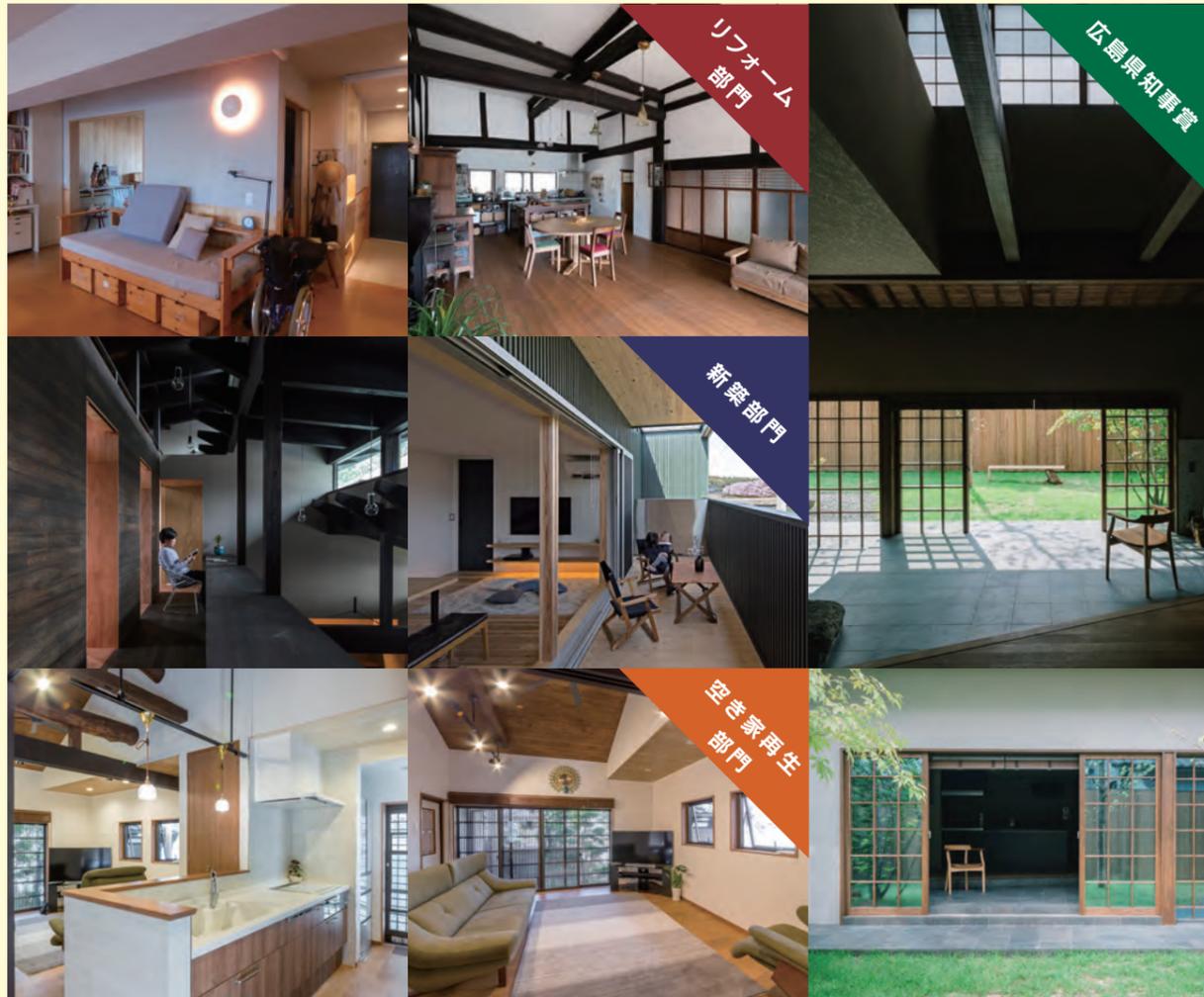


第11回 ひろしま  
住まいづくりコンクール

2020 作品集



「ひろしま住まいづくりコンクール」は、  
住む人の笑顔とプロフェッショナルたちの成果を  
広く伝える場所です。



主催 広島県  
ひろしま住まいづくり支援ネットワーク

広島県, 呉市, 福山市, 三次市, 東広島市, 廿日市市,  
(独法)住宅金融支援機構中国支店, (公社)広島県建築士会,  
(一社)広島県建築士事務所協会, (公社)日本建築家協会中国支部,  
(一社)広島県建築センター協会, 広島県住宅産業三団体協議会,  
(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部



後援 中国新聞社, NHK広島放送局, 中国放送,  
広島テレビ, 広島ホームテレビ, テレビ新広島,  
広島エフエム放送, 国土交通省中国地方整備局

事務局 ひろしま住まいづくり支援ネットワーク  
「ひろしま住まいづくりコンクール2020」事務局

(公社)広島県建築士会 事務局  
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F  
TEL082-244-6830(代)



## INDEX

### 01-02 広島県知事賞 新たな2世帯

大町 知己さん [kitokito]

### 03-04 リフォーム部門 最優秀賞 好きな物に囲まれた古民家で送るスローライフな暮らし

塩田 崇さん [塩田工務店一級建築士事務所]

### 05 リフォーム部門 優秀賞 live fleely -車椅子でも自在に-

林 健次郎さん [一級建築士事務所インプレイス]

### 06 リフォーム部門 奨励賞 石井谷の家

小泉 満さん [AK建築設計事務所]

### 07-08 新築部門 最優秀賞 十日市の家

小泉 満さん [AK建築設計事務所]

### 09 新築部門 優秀賞 1R

稲上 幸生さん [稲上幸生建築設計事務所]

### 10 新築部門 奨励賞 アナグラハウス

櫻井 朗さん [KALEIDO DESIGN(株大和興産)]

### 11 空き家再生部門 優秀賞 海軍の町に残された希少な古民家を IT、電化製品、断熱に対応した家へ

土肥 智樹さん [株土肥]

### 12 空き家再生部門 奨励賞 住み継ぎ、新築を超える空家リノベ

舛木 清子さん [株トータレリフォームセンター]

本作品集に掲載の1㎡当たりの工事費の目安については、次の点に注意して参考にご覧下さい。

※外構工事費は含まれていません。  
※リフォーム部門・空き家再生部門の作品は工事床面積、  
新築部門の作品は延床面積を基準としています。

## ～ ごあいさつ ～

「住まいづくり」は、充実したライフスタイルを実現するうえで、大きなきっかけになるものではないでしょうか。

AIやIoTなどのデジタル技術が急速に進展していく中においても、やはり、昔から変わりなく存在する住まいへの様々な想いや創意工夫が、住まいづくりの大切な要素であると思います。

また、新型コロナ危機は、過度に進行した「密集・密閉・密接」を避けて、人と人との距離を保つ「分散」がもたらす価値に気づかせました。

これからは、時間や場所にとらわれない自由度と満足度の高い暮らし方・働き方ができる「適散・適集」の地域づくりがより一層求められ、住まいにおいても、新たな生活様式に対応した満足度の高い住まい方が注目されてくることでしょう。

ひろしま住まいづくりコンクールは、住まいづくりの見本・好事例を広く紹介することにより、本県の住環境のさらなる向上と住宅産業の活性化を図るため、平成22年(2010年)から、実施しています。今年度で11回目を迎えたこのコンクールには、34作品(リフォーム部門16作品、新築部門16作品、空き家再生部門2作品)の応募をいただき、審査委員会による厳正な審査の結果、広島県知事賞をはじめとする9点の受賞作品を選定いたしました。

このたび広島県知事賞を受賞した作品は、親と暮らす2世帯住宅としてリノベーションされた住宅で、LDKに土間や吹抜けを設けることで空間の広がりや風の流れ、優しい光を感じられるような、心地よい雰囲気を創りあげている作品です。

また、最優秀賞には、全面的に床下の防湿対策、建物の劣化補修及び構造体の補強等しながらも、古民家もつ古い雰囲気等、古き良き物を可能な限り残しリフォームした作品、2階にLDKを配置することで、プライバシーを確保しつつ、北側に位置する川と桜並木の景色を生活に取り込み、開放的な住空間を実現させた、新築の作品が選ばれています。

この作品集では、受賞した9作品について、「住まいづくり」に対する住み手の理想や様々な希望、設計者や施工者等のノウハウや創意工夫、住み手と創り手がともに創り上げた「住まい」をまとめてみました。

皆様の住まいづくりの参考となり、充実したライフスタイルの実現に向けたきっかけとなれば幸いです。

最後に、このコンクールに応募いただいた多くの皆様、厳正な審査をしていただいた福田委員長をはじめとする審査委員会の皆様、そして、御協力いただいた関係団体の皆様に対して、厚く御礼申し上げます。

令和3年3月

広島県都市建築技術審議官 上田 隆博



# 新たな2世帯

福山市



庭と土間が一体となり、土間が内と外を繋ぐ中間領域となっている。

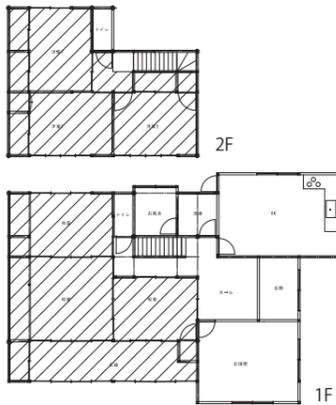


浴槽を桧にすることで、浴室内に桧の匂いが香りアロマ的な効果を生み出している。また、浴槽に映る木々が美しく、日々の疲れを癒してくれている。



内のような外のような、曖昧さがプライバシーを守りつつ露天風呂のような空間を創りあげた。

before

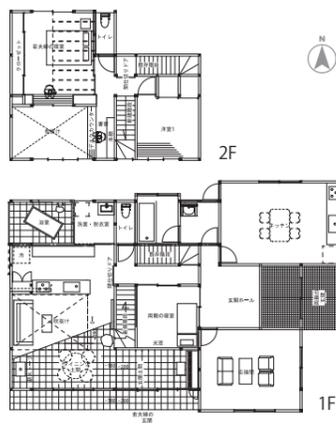


南側の窓際には広縁が配置されている。典型的な間取り。



庭から入る陽の光が格子窓を通して、土間に影を創りあげる。影を創ることで光を感じることができる。

after



プライバシーを確保するため、外部窓の内法を下げた。また夜になると落ち着いた雰囲気を出すための照明計画、庭木の配置とした。



階段の1段目は石を採用し、内部に自然の石を置くことで、より外とのつながりが生まれ、一体となっている。



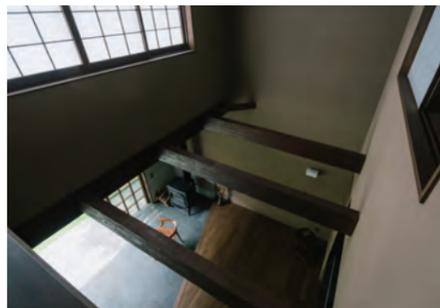
土間が、住む場所と庭を繋ぐ中間領域となる。障子越しのハイサイドライトが優しく土間を照らす役割となっている。

**選評** 審査委員 井本 健一

建て替え希望の2世帯住宅を、提案力で新しい生活の実現と思い出の継承に成功した事例である。既存の構造フレームを残しながら、その中に2階の床撤去によってリビング上部に吹抜を設け、広縁のあった場所を玄関兼半土間とし、大胆にまったく新しい空間構成を実現している。大開口によって生じた耐震性能不足を鉄骨柱と開口上部の壁内に耐震鉄骨梁により補強し、意匠を邪魔しない工夫がみられる。どこにでもありそうな実家の改修の好例といえる。

**選評** 審査委員長 福田 由美子

思いの詰まった親世帯領域はできるだけそのままの形で、子世帯領域は庭から土間、リビング、キッチンへと連続する空間や、開放性のある浴室など、こだわりの空間が新たに創出されている。かつての縁側が吹抜のある土間に、2階の窓がハイサイドライトに生まれ変わり、庭から土間に差し込む光と影が美しい。玄関や階段を分けることで独立した暮らしが営めるとともに、住戸内での行き来も可能で、ちょうどいい親子の距離感が実現できている。



2階書斎から吹き抜け越しにダイニング土間を見下ろす。冬には、薪ストーブに火をおこし、それによって温まった空気が吹き抜けを通り書斎や寝室を温める。空間に温度差のない快適な暮らしを実現させた。



リビングとダイニング土間と庭が一体にする事により、拡がり生まれ、のびやかな空間が造られる。

**創意工夫点** (大町知己さん)

プライバシーを確保しつつ、ライフスタイルを尊重するため、2世帯に必要な動線計画(玄関、水回り、音の問題)を考慮した。二両親の玄関から少し離れた場所に新居の玄関を設け、お風呂、水回りはご両親の寝室から離れた間取りに。また、庭と暮らしをどのように繋げるかを考え、土間という中間領域を創り、内と外を繋げた。放熱効果が望める土間をタイルとし、冬の底冷え問題を解消するため、断熱材を埋め込み土間下地を造った。その他、壁、天井に断熱材を施工し、温熱環境を向上させた。また、築50年近くも経っており、家の傾きが生じていたため、たてりの修正、柱を鉄骨柱に入れ替えて補強を試みた。

建築主	非公表
設計者	大町知己さん
事務所	Kitokotoi
TEL	(084) 96113302
施工者	設計者と同じ
企画立案者	設計者と同じ

好きな物に囲まれた古民家で送る  
スローライフな暮らし

庄原市



漆喰と既存の梁や柱が美しいLDK。アンティークの家具や照明、好きな物に囲まれた心地良い暮らしがうかがえる。



after

春夏秋冬の景色を取り込むリビングからの眺望。優しい灯りと景色が相まって心落ち着き癒される。



お施主様の願いだっただ家族みんなで囲める作業台。ご要望を基に細部に工夫を凝らし自社で造作した。



before



after

周囲の風景に溶け込むよう、外観はあえて変えずそのままの雰囲気を残し、断熱サッシの採用で断熱性を高めた。



大好きなモザイクタイルをあしらった洗面台。使い勝手や収納計画も細かくヒアリングして造作した。



before



既設建具を再利用しシックなアクセントクロスを採用。佇まいを変えずに味わい深い室に仕上がった。



ご主人の大切な鯉の水槽が並ぶ玄関土間。拘りのタイルが印象的。奥にファミリークロークを備え家族の出入口に。



縁側から眺める大好きな風景。既設建具を再利用し、どこか懐かしい雰囲気を残したお気に入りの空間。



before

after

**選評** 審査委員 山内浩和  
庄原の風景に惹かれ、趣ある古民家に移り住まれた子育て世代のリフォームである。築後100年を超える年月、冬の厳しい寒さ等による劣化は想定以上であり、伝統工法故の難しい問題を、技術力で見事に克服している。アンティーク好きの住まい手のこだわりを取り入れた土間玄関やLDKは、古材活用と漆喰により趣を保ちながら、耐久性・住まい心地の向上が図られている。課題解決に誠意を持って取り組み、コストパフォーマンスの高さも評価された事例である。

**選評** 審査委員 豊田隆雄  
築100年は経つという古民家を持つ雰囲気を残しつつ、快適で暮らしやすい家でありアンティークな物に囲まれたいという要望に応えたいという要望に、床下や柱材などを腐食させ隙間風も吹く家であったが断熱気密性能を向上し、構造材の補強なども施し快適に暮らせるよう努めている。  
減築も無い、程よい生活空間と暮らしやすいプランに変更し、古き民家の玄関土間を再現、和モダンな内装に統一することで古民家を再生している。

建築主	非公表
設計者	塩田 崇さん 〔塩田工務店一級建築士事務所〕 TEL(0826)453658
施工者	塩田 崇さん 〔しおた工務店(南塩田工務店)〕 TEL(0826)453658
企画立案者	施工者と同じ

**創意工夫点** (本吉公恵さん)  
スローライフな暮らしに憧れて、築100年以上の歴史ある古民家に移り住まれたご一家。床の傷みやカビの発生、冬の厳しい寒さなど、今後暮らしていくには多くの問題があった。床下の防湿対策、建物の劣化補修、構造体補強を施し、将来に渡り安心して暮らせるよう全面リノベーションした。周囲の風景に溶け込むよう外観はあえて変えず、古民家を持つ趣ある雰囲気を残しつつ、利便性と快適性を高めた。「歴史ある建物を再生して引き継ぎ、丁寧大切に暮らす」というご家族のライフスタイルが形になり新たな時を刻み始めた。



暗く湿気の多かった衣装部屋が、和風旅館を思わせる懐かしく落ち着いた寝室に生まれ変わった。



after

玄関ドアからスロープでリビングへと繋がる。床はコルク、腰板は杉、壁と天井は環境ペイント塗装。



before



リビングに繋がる風通しのいい部屋。正面は広島県産の杉の壁。

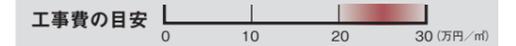


夫の部屋に隣接してトイレがあり、洗面脱衣室を通り浴室までストレートにアクセスできる。



車椅子で利用できる機能的なステンレス製のキッチン。

手が届く所に身の回りの物を自由に設置できる壁、将来リフトが設置できるように天井をRCとしている。



建築主	非公表
設計者	林 健次郎さん 〔二級建築士事務所インプレス〕 TEL(082)2718628
施工者	太原直行さん 〔有太原建築事務所〕 TEL(082)8733901
企画立案者	設計者と同じ

**創意工夫点** (林健次郎さん)

歩行困難な状態である夫は、いずれ車椅子生活が想定される。ここを夫婦の終の住処とするためのマンション全面改装。内装は全て撤去、床を20cm上げてバリアフリーとし、魅力的な住環境とノーマライゼーションの両立を目指した。限られた面積の中に様々な機能や動線を盛り込んだ。コンパクトで生活機能を充実させた夫の個室とつながる水廻り。ゆつたりと過ごせるリビングとダイニング。二人がよくこもりよく集える住宅が実現。

**選評**

審査委員 岩田忠二

市街地の河辺に建つマンションの一室を、シニア世代夫婦が定年後の住処とするために、あらゆる検討を重ね全面改装をした事例である。限られた空間のなかで先に必要となる車椅子生活にも対応できるようにバリアフリー化と共に床・壁の材質にもこだわっている。また、動線の検討と収納の工夫をし機能的な仕上げりとされている。バルコニーに設けた木製デッキから川沿いの樹木、街並みを眺めるご夫婦の姿が思い浮かぶ。ステイホーム・豊かな住まいづくりの参考事例となる作品だ。



石井谷の家

北広島町



after

カウンター、天井と壁の境界をぼかしたR天井、既設の柱で水田や、山並みの風景をトリミングし、景色を際立たす。



before

良い材料が使用され、それを何かに生かせないかと考えた。



星や、月を眺めながら就寝ができる。既設の丸太を生かし、開閉式のトップライトは煙突効果で部屋中の空気を動かす。



ミニキッチン(主に食事は母屋)、円形のテーブル、アクセントカラーの壁で設えた。



既設の面影を尊重し、より生かせるように真壁の白壁と、格子、丸窓で設えた。



**創意工夫点** (小泉満さん)

敷地は、なだらかな山に囲まれ、棚田のような水田風景と自然豊かな風景の広がる場所に位置する。母屋に隣接する納屋を、若夫婦の2世帯住宅に改修するにあたり、農の営みがくり出す田園風景と、美しく、緑豊かな景色をLDKに取り込みたいと思い、開口部を大きくとり、既設の柱を生かし、デスクや肘掛けにもなるカウンターを設け、窓際が居心地よい住まいとした。また、外観は、できるだけ改修前の面影を残した和風の佇まいとした。

建築主	非公表
設計者	小泉 満さん 〔AK建築設計事務所〕 TEL(0826)726975
施工者	小泉 政志さん 〔石見工業機(広島支店)〕 TEL(0826)728124
企画立案者	設計者と同じ



壁と天井の境界をなくし、木肌が目線に自然と入ってくるやわらかな雰囲気とした。



機能的で、収納量がたくさんある一般的なキッチンではなく、外壁・室内建具の色に合わせ、モノの収納方法を共に考え、お気に入りの食洗機を取り入れたオーダーメイドキッチン。



隣の家の玄関にも彩りを与えてくれる植栽。



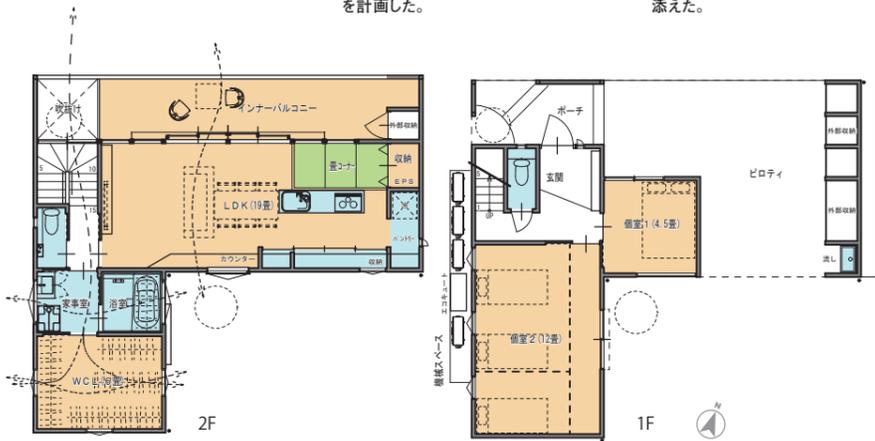
極力単純化、合理化を図った洗濯作業の動線、四方に風が抜けていく窓を計画した。



1日に何度も上り下りする階段は、杉板天井とし、移動空間にも彩りを添えた。



アウトドア好きな家族に、使用用途を限定せず、外部のリビングにもなる、2階の半屋外の空間を設けた。



グリーンの外壁は闇に包まれ、木肌が浮かび上がるような佇まいが、街に彩りを与える。



手摺と天井でトリミングし、美しさを際立たせた風景。面積以上の広がりを感じることができる。



2階内部が通りから見えないような手摺高と、軒裏の木目が際立つガルバリウム鋼板の外壁。



外部収納の建具が、一枚の木壁に見えるようにした。



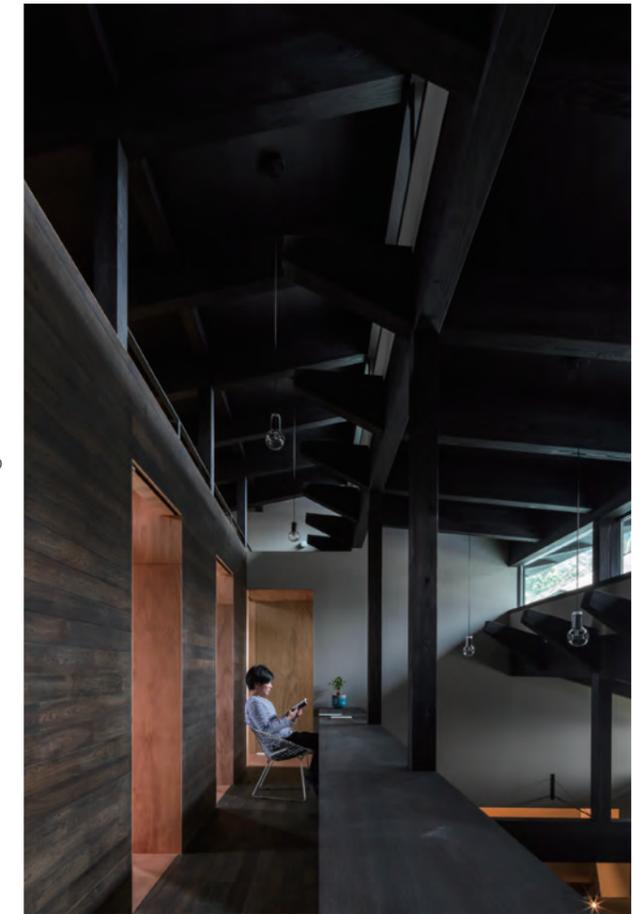
1階にも半屋外の多目的な空間を設け、ピロティとすることで、敷地の南側に通り抜けができる。

**創意工夫点** (小泉満さん)  
敷地南面は旧国道の商店街で、車や人通りが多く、空き地ではあるが、将来的に建物が建つであろう、また、東西は近隣と密接して建物が建つ。しかし、北面は川辺の桜並木、山並みがたたくすみ、美しく、落ち着いた雰囲気であった。そこで、南面に開いた家ではなく、景色の素晴らしい北面に大きな開口部をつくり、開放的な住空間をつくりながらも、プライバシーはしっかり確保するため、2階にLDKを配置した住まいとした。

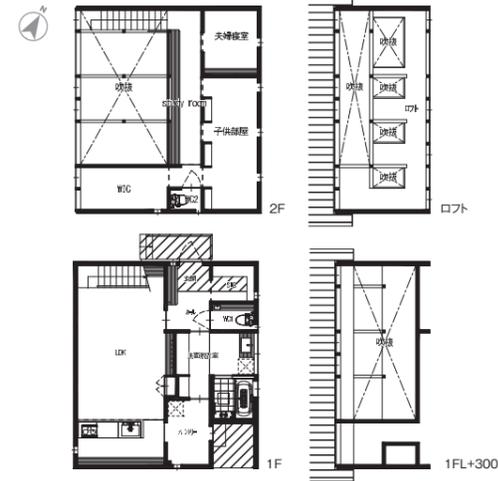
企画立案者	設計者	建築主
設計者と同じ	小泉 満さん 「AK建築設計事務所」 TEL(0826)726375 TEL(0826)823576	非公表
施工者	瀧本 義和さん 「有佐々岡工務店」	

**選評** 審査委員 有我敦  
本作品は、南側隣地の将来的な建物近接可能性と敷地北側に広がる絶景空間を考慮し、1階には大きなピロティを設けて南北空間を繋ぐとともに、2階に大空間のLDKを配してその北側に大きなインナーバルコニーを設けることで、絶景空間への広がりを演出している。また、北向きであることを考慮し、各所に採光や開放感演出の工夫もあり、日本では必ずしも評価が高いとは言えない北向き住宅の新たな可能性を示す好例であると思われる。

**選評** 審査委員 藪根拓  
自然を臨む良好な景観を有し、開かれた空間とプライバシー確保を両立させ豊かな生活を実現した住宅である。建物下を通り抜け可能にして敷地を分断することなく、開放的な空間を楽しむ。一方、2階のインナーバルコニーはLDKへの視線を遮るが、トリミングされた景色を取り入れ、半屋外のスペースを担う。また県産材などを使用し、意匠に連続性を持たせ、居心地を良くしている。周囲環境を上手く取り入れた好事例である。



黒を基調とすることで光の明暗を強調し、各空間の開放感を変化させている。



外部からは閉鎖的で静寂な空間とし、家族だけの団楽の場を演出した。



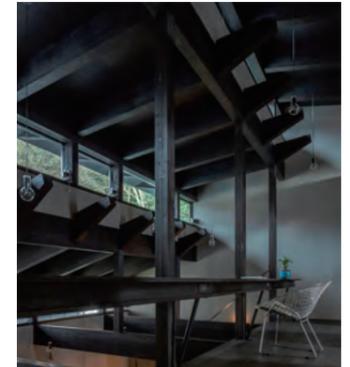
将来、三部屋にできるよう出入口、棚、吹抜を三つずつ設け、壁となる部分には構造体を入れている。



コンセプトである三枚の屋根を強調させるシンプルな外観。



LDKからロフトまで見通すことができる。1R空間は同材、同色とすることで一体感をだしている。



ロフトには各居室から上がれるようになっており、ロフト部分は子供の寝室兼プレイルームとなる。



玄関と廊下には段差を極力設けず、限られた空間が広く見えるように有効的に活用した。



建築主	非公表
設計者	「稲上幸生さん」 「稲上幸生建築設計事務所」 TEL(082)9092642
施工者	左山博明さん 「工匠くつろぎ株式会社」 TEL(082)8318160
企画立案者	設計者と同じ

**創意工夫点** (稲上幸生さん)

南北を山林に挟まれた谷に位置している住宅である。要望に対し、三枚の屋根と断面的に大きな二つの空間で構成される建築を提案した。各屋根の下には主要な居室を設け、視線や風、光等を考慮しそれぞれ異なる屋根勾配とした。各居室には異なる開放感が与えられ、二つの空間が薄暗く静寂な空間から光や風を感じる開放的な空間へと立体的に変化する。二つの空間に多様な関係性と距離感を立体的に与えることができる1R空間とした。

**選評**

審査委員 山田孝延

北側道路に山裾が迫り三方は隣家に囲まれた敷地に、三枚の屋根を組合わせた岩のような構えを持つ住宅。天井の高い落ち着いたリビング、2階は外部に視野の広がるプライベート領域、閉じた空間から開放的な空間へ連続した、味わい深い内部世界を内包している。桁行き8mに及ぶ高窓、屋根を薄く見せるための波り頭工法、立体解析を用いた構造計画、断熱性、省エネルギーを確保する温熱計画と確かな技術に支えられた工夫が随所に凝らされている。郊外地に建つが、密集市街地にも示唆に富む秀作である。

アナグラハウス

廿日市市



大勢が集まってもゆったり過ごせる住宅中央のプレースペース。床を一段下げることで落ち着き感を出している。



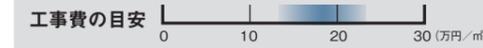
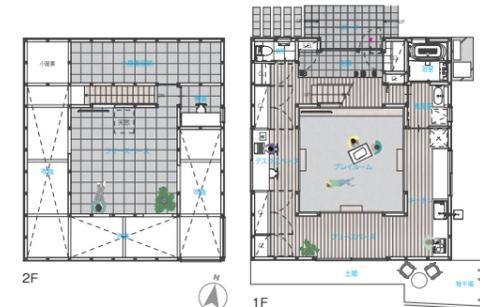
中央のプレースペース上部にある2階フリースペース。ランダムな開口により1階と繋がった空間となっている。



光を取込む南東側に向かって高くなっていく外観形状。日中光を受ける面を白、逆側を黒の外壁で構成している。



大きな空間の中央に箱が入り込んだような室内空間。南東の高窓から吹抜を通して室内全体に光を取込む。



内側と外側の壁の開口サイズを合わせることで、南側の光を住宅中央まで取込むと共に、開放感をもたらした。



南東側の外観。白い山型形状が青空や周囲の山々の線によく映える。



自宅でミニコンサートも開く施主。一段下を客席、上の段を舞台として利用することもできる。

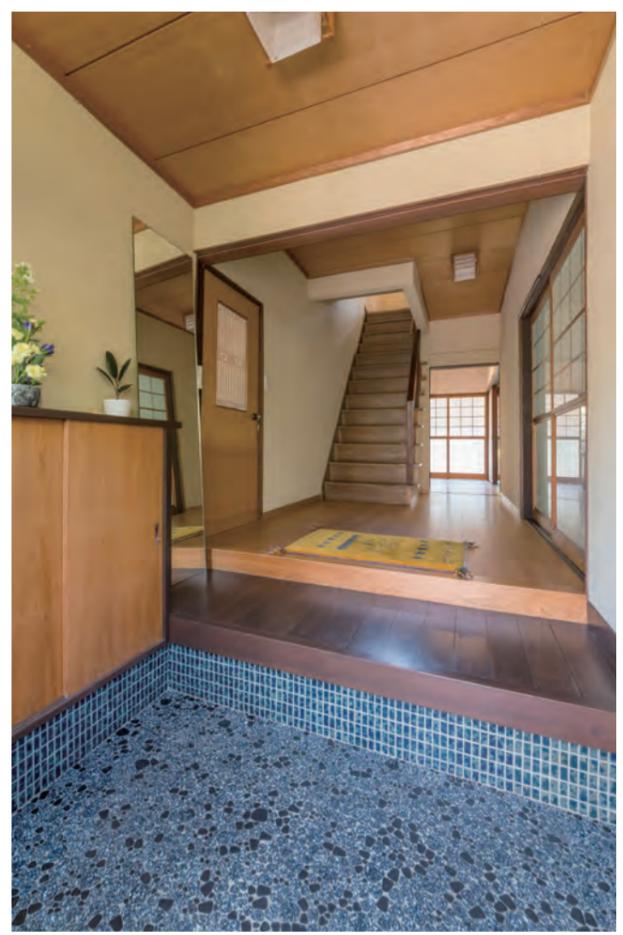
**創意工夫点** (櫻井朗さん)

共通の趣味を持った友人が大勢集まり楽しむ、といった生活が日常の主体となっているご夫婦の住まい。室内は大きな空間の中央に小さな箱が入りこんでいるような空間構成になっており、その中央の小さな箱の中に大勢で集まれる広場のようなスペースを設けた。各居室を個室として間仕切るのはなくスペースを作ることで、どこでも何をしてもいい、居室からの行為の押付けのない住まい手の自由なスタイルで暮らせる住まいである。

建築主	非公表
設計者	櫻井 朗さん KALEIDO DESIGN (株)大和興産 TEL(082)2258650
施工者	上森 学さん (株)大和興産 TEL(082)8141111
企画立案者	設計者と同じ

海軍の町に残された希少な古民家を  
IT、電化製品、断熱に対応した家へ

呉市

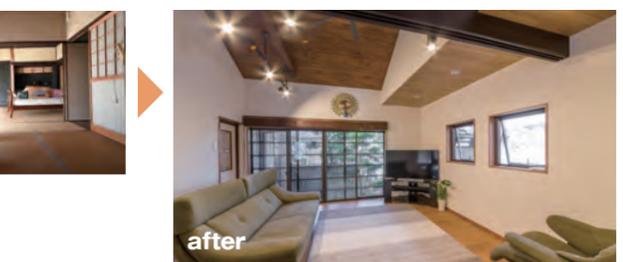


改修前の床タイル、下駄箱、上り框などの姿を残す玄関廻り。



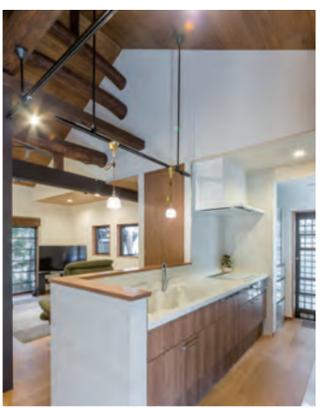
表通りに今は人影が疎らだが、近くに歴史ある高校があるため取り付けられたであろう目隠し。破損した部分も含めて手直しし鉄(びょう)等もエイジング加工したこだわりの建具。

新築時から受け継がれた玄関引き戸、手吹き型のガラスが美しい。



after

最後まで悩んだリビングの梁。梁を見せた勾配天井に。この天井をきんだ空間を大変満足していただいている。



before

オープンキッチンから望む、リビングの雰囲気。奥様お気に入りのスペース。



LDK横の和室は壁の聚楽、畳替えのみで以前の姿のままに。

**選評** 審査委員 的場弘明  
呉市内の空き家であった古民家を改修した事例で、車両が入ることが困難な立地条件にありながら、子供を持つ夫婦世帯が前所有者の面接を受けて譲り受けた物件である。趣があり歴史的な意匠性が高い既存の建具やガラス、小屋組みなどを活かして、現代的な生活にマッチするよう床段差の処理や断熱性の確保など様々な工夫を行っている。工事は全て手運搬でコストもかなり大変だったと思うが、こうした地域の持つ文化と優れた建築資産に若い世代が魅力を感じ、次世代へと丁寧に継がれてゆくリレーが多くの人々の参考になれば幸いである。

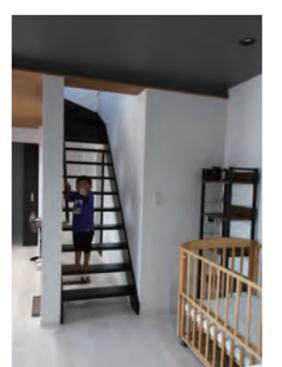
建築主	非公表
設計者	土肥智樹さん (株)土肥
施工者	大西雅明さん (株)土肥
企画立案者	設計者と同じ
TEL	TEL(0823)2115791

住み継ぎ、新築を超える空家リノベ

呉市



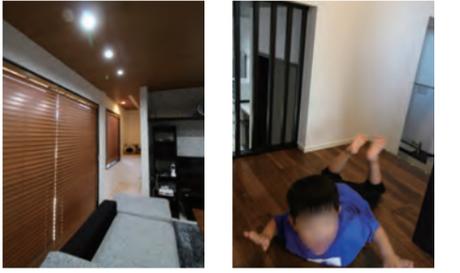
帰宅した家族や階段から降りてきた家族の顔を見て迎えることができ、リビングで過ごす家族も見守ることができる。



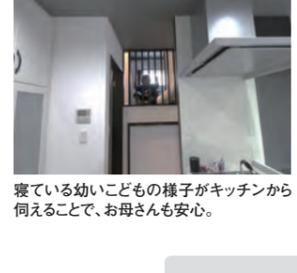
階段下にも空間が広がるスプリット階段。子供が落ちないように格子ではなく壁にし、スリット開口を設けた。



after  
施主が幼い頃に遊んだ庭へと繋がる窓ヘッドデッキを設置。リビングから庭で遊ぶ子供たちを見守る暮らし。



取れない柱に囲われた階段のあった南面。死角になるその空間は採光を活かして室内物干しスペースへ。



寝ている幼い子どもの様子がキッチンから伺えることで、お母さんも安心。



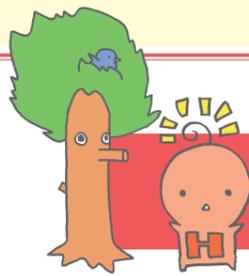
キッチン落ち着いた色調ですっきりまとめた。取れない柱があるので、キッチンとカップボードの間は広めに確保。



増築を繰り返したため、階段横にできたスペース。こどもや愛猫にとっては狭い場所や隙間は秘密基地。

**創意工夫点** (舛木清子さん)  
築80年の木造2階建。増築を数度にわたって繰り返してきた住宅。床や天井の段差、間仕切りも多く、子育てには向いていない間取りだった。  
構造上解消できない天井の段差を生かしてフロート天井にしたことで、奥行きを感じられる空間へ。育っていくこども達と楽しくコミュニケーションが図れる住まいへ。遊び心を設け、色々な仕掛けからのびのびとした発想を広げ育ってくれるよう、願いを込めて長い将来を見据えた家となった。

建築主	非公表
設計者	舛木清子さん (株)タテテリフォームセンター
施工者	藤明 潤さん (株)タテテリフォームセンター
企画立案者	山口明知さん (株)タテテリフォームセンター
TEL	TEL(082)5077008



## ひろしま住まいづくり コンクール2020 概要

### 趣旨・目的

住まいづくりの現場で日々生み出されている、建築主の想いや事業者の創意工夫にあふれた住まいは、これから住まいづくりをする人にも、とても参考になるものです。

このコンクールは、優れた住まいづくりを表彰し、住まいづくりの見本・参考事例として広く紹介することにより、本県の住環境のさらなる向上と住宅産業の活性化に寄与することを目的としています。

耐震や省エネルギー、本県の地域性などに配慮しつつ、建築主の求めるライフスタイルを形にした、新しい「ひろしまの住まいづくり」が発見できることを期待しています。

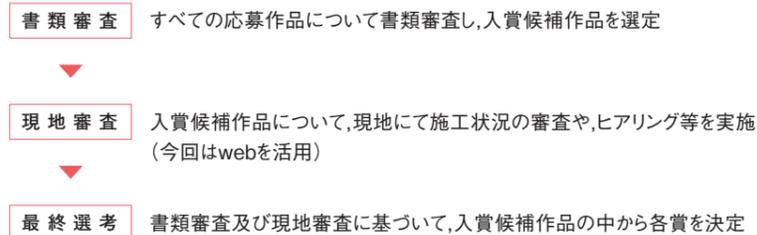
### スケジュール

エントリー登録受付期間	令和2年 7月17日～8月31日	最終選考	令和2年 11月30日
作品応募受付期間	令和2年 8月 3日～8月31日	結果発表	令和3年 1月19日
書類審査	令和2年 10月5日	表彰式	令和3年 3月25日
現地審査	令和2年 11月9日,14日	受賞作品展(県内各市町)	令和3年 4月上旬から約1年間

### 審査委員会 (敬称略)

委員長	福田 由美子 [広島工業大学 教授]
委員	有我 敦 [(独法)住宅金融支援機構中国支店 支店長]
委員	井本 健一 [(公社)広島県建築士会 会長]
委員	豊田 隆雄 [(一社)広島県建築士事務所協会 副会長]
委員	山田 孝延 [(公社)日本建築家協会中国支部 表彰委員長]
委員	岩田 忠二 [(一社)広島県建築センター協会 理事長]
委員	山内 浩和 [広島県住宅産業三団体協議会 広島ハウスメーカー協会 会長]
委員	籾根 拓 [(一社)日本住宅リフォーム産業協会 中国四国支部 アカデミー委員]
委員	的場 弘明 [広島県 総括官(建築技術)]

### 審査の流れ



書類審査



現地審査(web活用)



最終選考

審査の観点 応募作品を次の観点から総合的に審査し、賞を選考

#### 共通の観点

- 一般家庭で見本となる工事内容や価格で、いつまでも広島県に住みたいと思える魅力ある住まいづくりを実現している。
- 設計や工事の過程で生じた困難や問題を、創意・工夫や技術力によって解決している。

#### リフォームの観点

- 地域の気候風土に即した省エネ性能、耐震性の向上、バリアフリー化など、それぞれの住宅に合った改修技術を用いて品質の向上を図っている。
- 住まいに対する居住者の思いへの配慮、世代や世帯構成の変化への対応、自分らしいライフスタイルの実現など、多様なニーズに対応している。

#### 新築の観点

- 高い省エネ性、耐震性、耐久性などを備え、長期にわたって活用することが可能な良質な住宅である。
- 県産材や自然素材の利用、地域や街並みとの調和、健康で快適な居住環境の実現など、多様なニーズに対応している。

#### 空き家再生の観点

- 地域の気候風土に即した省エネ性能、耐震性の向上、バリアフリー化など、それぞれの住宅に合った改修技術を用いて品質の向上を図っている。
- 新たな居住者が、地域の気候風土やロケーションを生かし、自分らしいライフスタイルを実現している。

応募総数 34作品(リフォーム部門16作品,新築部門16作品,空き家再生部門2作品)

#### 表彰作品

- ◎ 広島県知事賞 1点
- ◎ リフォーム部門 最優秀賞1点 優秀賞1点 奨励賞1点
- ◎ 新築部門 最優秀賞1点 優秀賞1点 奨励賞1点
- ◎ 空き家再生部門 優秀賞1点 奨励賞1点

コンクール応援隊は、ひろしま住まいづくりコンクール2020 を応援しています。



Link to Good Living



コンクール応援隊に関しては、広島県住宅課にお問い合わせください。

過去の「ひろしま住まいづくりコンクール」の入賞作品がHPで見ることができます！

### HPでの確認方法

1. ひろしま住まいづくり支援ネットワークで検索
2. TOPページのタブより事例紹介 ひろしま住まいづくりコンクールをクリック

便利な情報,ご相談窓口など,住まいづくりのトータルサポート

# ひろしま住まいづくり支援ネットワーク

## 安心・安全の住まいづくりをめざして

建築士,住宅関連事業者,行政などの関係団体が構成する「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」がみなさんの住まいづくりをサポートします。



## 「ひろしま住まいづくり支援ネットワーク」とは?

県内の建築・住宅関係団体が提供する住まいづくりに関する情報を共有し、県民が安心して適切な住まいづくりが行えるよう支援することを目的としています。

ひろしま住まいづくり支援ネットワークでは,住まいづくりに関わる消費者への情報提供や住宅相談など,住まいづくりのサポートを行っています。

## ひろしま住まいづくり支援ネットワーク (建築の専門家等)

### ホームページによる情報提供

- 住まいづくりのポイント
- 高齢者のための住宅改修ポイント
- 耐震診断

<http://www.hiroshima-sumai.com>

### 安心できる住宅相談

- これから住まいづくりをお考えの方
- 現在工事中の方
- すでに工事が完了している方



消費者  
住まいづくりをサポート